

看護教育の拠点完成

畿央大に
新講義棟

今春から看護医療科を開設する畿央大学（冬木智子理事長）が新たに建設していた第三講義棟（看護棟）が完成。広陵町馬見中四丁

目の同大学で十八日、大学関係者らによる完工式が行われた。式典には、冬木学園の冬木理事長や松田茂夫法人局



神事を行い、完工を祝う冬木理事長（18日、広陵町馬見中四丁目の畿央大学）

長ら学校関係者をはじめ、施工業社の代表や設計業社の代表者、地元自治会会長ら約五十人が参加。神事を行い、出席者が完工を祝った。

完成した講義棟は、鉄筋コンクリート造り、延べ床面積二千九百九十四平方メートルで、地下一階、地上二階建て。学生三百人が入れる教室などを備えるほか、病院を想定した実習室、研究室などが入る。

冬木理事長はあいさつで「建学の精神で、誠心誠意頑張ってきたさつた業者のみなさんに心から感謝します」と話し、将来の抱負を話した。